NCSA Telnet-J の使用方法

工学部材料加工学科　榎　浩利
enoki@material.tohoku.ac.jp

1　はじめに

Macintosh 用の telnet ソフトで有名なものに Illinois 大学の NCSA(National Center for Supercomputing Application) で開発された NCSA Telnet があります。これを日本語にローカライズしたものが NCSA Telnet-J です。現在の最新版は Ver2.6.1JB18 で，

ftp://ftp.tohoku.ac.jp/pub/mac/net/ncsa-telnet/telnetj-dit/

の中においてあります。これを解凍すれば，“NCSA Telnet 2.6.1JB18” と “README.telnet2.6J” の 2 つのファイルができます。NCSA Telnet は Ver2.6 からは MacTCP 専用になりましたので，まず MacTCP を確実に設定してください。また，旧バージョンでは “configJ.Tel” ファイルによって設定を行っていましたが，Ver2.6 からはすべて Preferences 内で設定するようになりましたので，準備が出来たら起動してみましょう。

2　Preferences の設定

起動しただけでは，何もウィンドウは開きませんが，まず Preferences で端末の設定を行わなければなりません。Edit メニューの中にある “Preferences” には様々な設定がありますので，すべて説明することはできません。ここでは最低限の設定条件だけ紹介しておきます。

2.1　Global

ここは特に設定を変える必要はないと思いますので省略します。

2.2　Terminals

ここでは telnet 端末の設定を行います。最初に図 1 のダイアログが表示されます。ここで ⟨default⟩ を選ぶと図 2 のようなダイアログが現れます。Font を日本語の等幅フォント

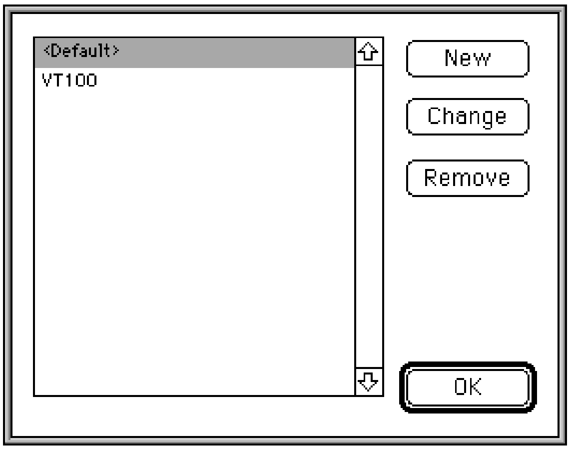

図 1: “Terminals”ダイアログ (その 1)

に設定しておけば，あとはそのままでも特に問題になるような箇所はありません。また，図 1 のダイアログで New ボタンを押せば，設定を変えたものをセーブしておくことが出来ます。

2.3 Sessions

ここは接続する先の情報を設定します。やはり図 1 のようなダイアログが表示されますから，⟨default⟩ を選んで change ボタンを押すと図 3 のダイアログが現れます。重要な箇所のみ列挙すると

- Hostname:　接続する Host 名 (IP address でも可)
- Delete Sends:　delete キーを押したときに送出する信号
- Terminal:　前項で設定した Terminal 名
- Translation Table:　漢字コードの設定
- Interrupt/Suspend/Resume:　Emacs 等を常用する人はこれらを全部消去

あとは特にいじらなくてもいいでしょう。これらの項目は，実際に接続している最中に “Session”メニューの中で変更することが出来ますので，Hostname 以外はそんなに気を使う必要はありません。また “Terminals”の項と同様，図 1 のダイアログで New ボタンを押すことによって，いくつもの Session を設定することが出来ます。

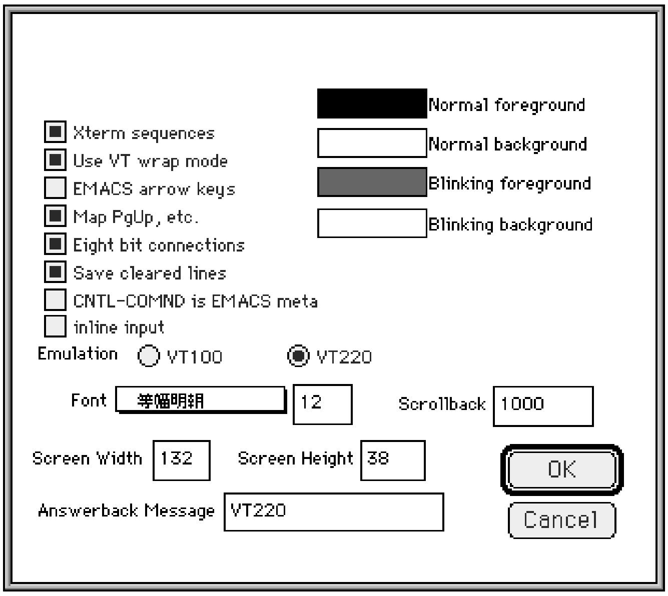

図 2: “Terminals”ダイアログ (その 2)

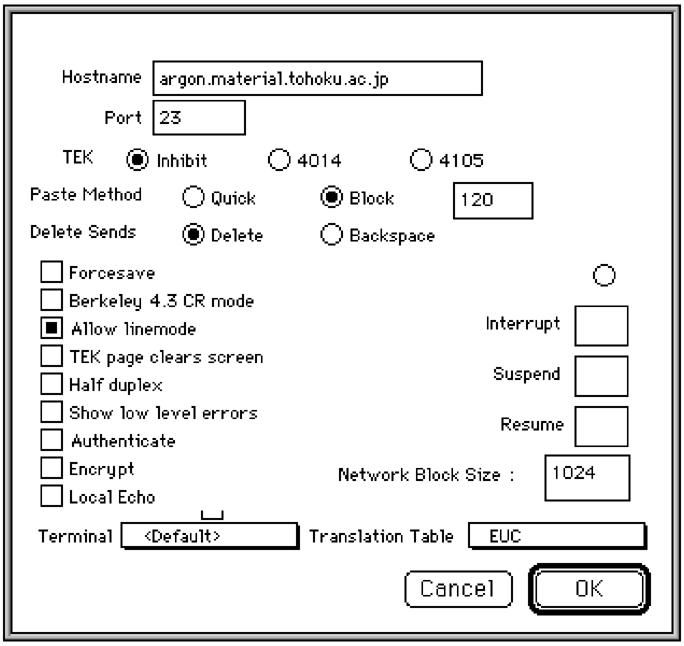

図 3: “Sessions”ダイアログ

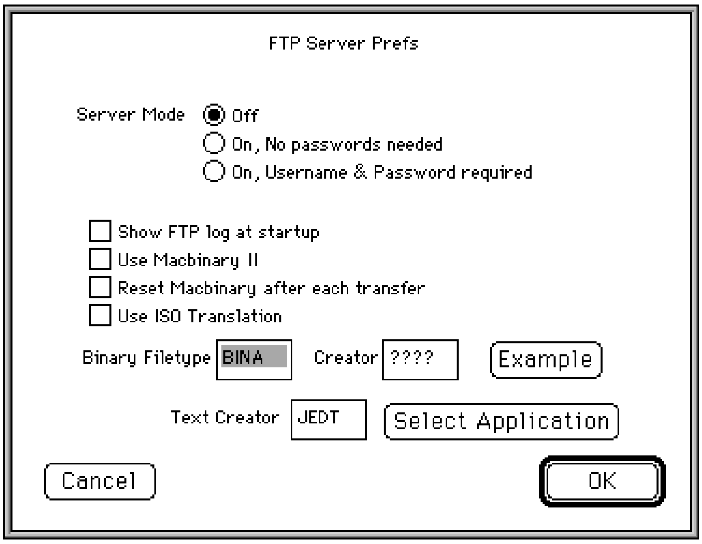

図 4: “FTP Server”ダイアログ

2.4 FTP Server

ここは FTP Server としての機能を設定するところです。図 4 はその設定ダイアログですが，一番上の Server Mode を ON すると，NCSA Telnet を起動している間は FTP Server としても働きます。しかし “On, No passwords needed”を選ぶと，誰でも勝手にアクセスでき危険ですので，“Off”か “On, Username & Password required”にチェックしておいてください。

2.5 FTP User

先の “FTP Server”の項で “On, Username & Password required”を選んだ場合，ここでアクセスできるユーザの Username と password，デフォルトのフォルダを設定します (図 5 参照)。

3 NCSA Telnet-J の利用方法

“File”メニューの “Open Special”を選ぶと，右側にさきほど設定した Session の名前がずら~っと表示されますので，どれか適当なところを選んで接続してみましょう。日本語の表示は大丈夫か？ Delete キーの動作は大丈夫か？等を確認しておきましょう。動作がおかしいところがあれば，“Session”メニューで設定を変更してチェックしてみましょう。ただし Session メニューで変更した項目は “Preferences”の “Sessions”の設定には反

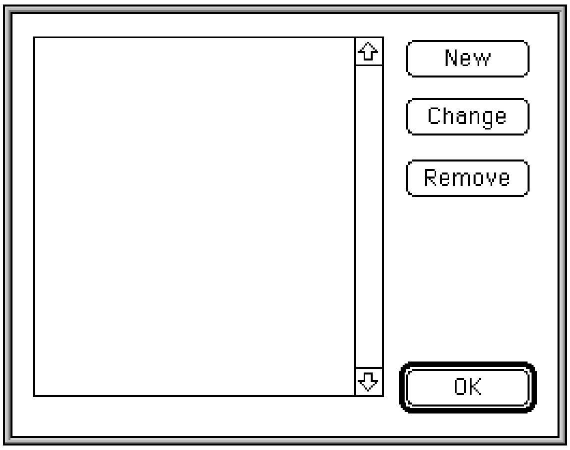

図 5: “FTP User”ダイアログ

映されませんので，後で直しておきましょう。あるいは “Edit”メニューの “Save Set”で Set ファイルとして保存しておくこともできます。

4 ACOS への接続

残念ながら，NCSA Telnet-J では ACOS との接続には若干の不具合があります。TCP/IP で ACOS と正常に接続したい場合は，areTerm もしくは VersaTerm や VersaTerm Pro を使用してください。areTerm は日本語も扱える通信ソフト (シェアウェア, 1000 円) で

ftp://ftp.tohoku.ac.jp/pub/mac/net/term/

にあります。VersaTerm あるいは VersaTermPro はアメリカ製の通信ソフトで，日本語を扱うことは出来ませんが，図形データ (Tektronix 4014 もしくは 4105) を扱うことが出来ます。詳しくは生協に問い合わせてください。TCP/IP で ACOS に接続した場合，`TEL001 ENTER $$$CON CMD.` とメッセージが出たら，

```
$$$CON,TSS,,TKNJ
```

というコマンドを入力すれば，あとは普通に使えます。